

年 組 名前：

「育てにくい」日本6割

内閣府の国際意識調査。調査会社に委託し、今年10月、日本人回答者の6割が「子どもを産み育てにくい」と感じていることが明らかになった。フランスやドイツ、スウェーデンに比べ育てにくいとする割合が突出して高い。子育てを支える政策が各国に比べ不十分だと多くの人が感じていることが背景にありそうだ。

調査では「自国が子どもを産み育てやすい国だと思うか」と問うと、日本は「そう思う」38.3%に対し「そう思わない」が61.1%と多数を占めた。各国では「そう思う」がスウェーデン97.1%、フランス82.0%、ドイツ77.0%と日本を大きく上回った。

産み育てやすい国と思う理由（複数回答）では、日本は「地域の治安がいいから」が最多。一方、フランスやドイツは「妊娠から出産後までの医療が充実」「保育サービスが充実」が、スウェーデンは「教育費の支援や軽減」が多かった。日本は3カ国に比べ、こうした子育て支援の項目の割合が低かった。

恋愛に関する考え方（複数回答）では「相手からアプローチがあれば考える」が日本では40.4%を占め、他国に比べ受け身の姿勢が浮き彫りに。「恋愛は面倒だと感じる」が19.4%だった。

国際意識調査 欧州に比べ突出

産み育てやすい国と思う理由（複数回答）では、日本は「地域の治安がいいから」が最多。一方、フランスやドイツは「妊娠から出産後までの医療が充実」「保育サービスが充実」が、スウェーデンは「教育費の支援や軽減」が多かった。日本は3カ国に比べ、こうした子育て支援の項目の割合が低かった。

恋愛に関する考え方（複数回答）では「相手からアプローチがあれば考える」が日本では40.4%を占め、他国に比べ受け身の姿勢が浮き彫りに。「恋愛は面倒だと感じる」が19.4%だった。

(2021年5月16日付 山梨日日新聞13面)

問1 日本、フランス、ドイツ、スウェーデンの男女を対象に行った国際意識調査で、「自分の国が子どもを産み育てやすい国だと思う」と回答した割合が多かった順に国名を並べてください。

①「 」 → ②「 」 → ③「 」 → ④「 」

問2 「生み育てやすいと思う理由」について、日本と欧州各国で違いがあります。それぞれ多かった理由を書いてください。

・日本

・欧州

問3 総務省が公表した今年4月1日現在の14歳以下の子どもの数は1493万人で、40年連続で減少しました。あなたは、少子化によるデメリットは何だと考えますか。

.....
